

【教員氏名】

富澤 修身
研究室:兼任講師室
メールアドレス:

【授業形態】

講義

【講義・演習概要】

まず、現代のファッションとファッション産業を概観する。第1部「資本主義社会とファッション」では消費生活サイドから論じる。第2部「ファッション産業論」では供給サイドから論じる。第2部では、ファッションビジネスのグローバル競争を論じた後、クリエイション、マーケットイン、情報技術の活用、広告、グローバル化、都市とファッション、地球環境配慮とユニバーサルファッションについて論じる。最後にクリエイティブライフを論じる。なお、最新の内容は、補足資料を用いて論じる。

【学習目標】

身近なファッションを題材にして、学問をする意味や楽しさを学ぶ。ファッションの奥深さを実感して欲しい。また、ファッションビジネスに関心のある学生は、1年間受講すれば、ファッションとファッション産業についての十分な知識を修得することができる。就職活動にも必ず役立つ。

【講義計画】

- 第1回:はじめに
- 第2回:1. 社会、衣服、ファッションビジネス(1)
- 第3回:1. 社会、衣服、ファッションビジネス(2)
- 第4回:2. 資本主義社会における消費(1)
- 第5回:2. 資本主義社会における消費(2)
- 第6回:3. 衣服の変化とファッション現象(1)
- 第7回:3. 衣服の変化とファッション現象(2)
- 第8回:3. 衣服の変化とファッション現象(3)
- 第9回:4. 20世紀後半日本の消費生活と衣生活の変化(1)
- 第10回:4. 20世紀後半日本の消費生活と衣生活の変化(2)
- 第11回:5. 世界繊維産業の見取り図(1)
- 第12回:5. 世界繊維産業の見取り図(2)
- 第13回:6. 3大繊維市場圏の形成とファッションビジネスの変容(1)
- 第14回:6. 3大繊維市場圏の形成とファッションビジネスの変容(2)
- 第15回:7. 日本のファッション産業システム(1)
- 第16回:7. 日本のファッション産業システム(2)
- 第17回:7. 日本のファッション産業システム(3)
- 第18回:8. ファッション産業システムの情報化(1)
- 第19回:8. ファッション産業システムの情報化(2)
- 第20回:9. ファッションコミュニケーションの構造と消費者行動(1)
- 第21回:9. ファッションコミュニケーションの構造と消費者行動(2)
- 第22回:10. 縫製基地としての中国と消費市場としての中国都市部(1)
- 第23回:10. 縫製基地としての中国と消費市場としての中国都市部(2)
- 第24回:11. ニューヨーク市のファッションビジネスとアパレル産業(1)
- 第25回:11. ニューヨーク市のファッションビジネスとアパレル産業(2)
- 第26回:12. 都市生活のファッション化とファッションビジネス創造(1)
- 第27回:12. 都市生活のファッション化とファッションビジネス創造(2)
- 第28回:13. 繊維アパレル産業と社会的責任(1)
- 第29回:13. 繊維アパレル産業と社会的責任(2)
- 第30回:14. 終章

【成績評価の方法】

試験評価:70% レポート:15% 出席:15%
小レポート提出と出席確認は、抜き打ちで行う。

【使用テキスト】

富澤修身『ファッション産業論』創風社

【参考文献】

【準備学習の指示(事前学習 60 時間、事後学習 60 時間)】

毎回講義終了時に、次回の講義の範囲となる教科書のページを指定して、予習の指示を出す。事後学習としては、講義ノートの点検整理を行わせる。

【その他備考(担当教員用)】

【備考(管理者用)】